

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX593／Short-term Study Abroad Program in Economics (AUS)		
担当者名 (Instructor)	小澤 康裕(OZAWA MICHIIHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	6単位(6 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX9053	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

南半球の異文化の中で、語学研修、企業/事業所訪問、リサーチ・プロジェクト、ホームステイ等を通じて、視野を広げるとともに、行動力を身につけることを目標とする。

The objective is for students to widen their perspective and acquire the ability to take action while studying language, visiting companies, conducting research work, experiencing homestay, etc., in a different culture in the Southern Hemisphere.

授業の内容(Course Contents)

秋学期の授業時間中は、映像資料を用いた経済学の反転授業や英語で自己紹介する練習等を行い、英語に触れながらシドニーでの研修の準備を行う。また、リサーチ・プロジェクトの準備作業を進める。シドニーでの研修中は、午前中はシドニー大学(予定)においてレベル別の語学研修を行い、午後は英語でのプレゼンテーション指導、シドニー立教会の紹介等による企業・事業所訪問やワークショップを実施する予定である。また、最終週にリサーチ・プロジェクトのプレゼンテーションを行う。「英語を使える」ことを目指す。

In the fall semester class, some flipped classrooms using video materials about Economics and practice introducing yourself in English will be done to prepare students for studying in Sydney. Preparation work for a research project should be accomplished. During the study in Sydney, in the morning students will receive language training for their levels at the University of Sydney, and then in the afternoon, they will visit businesses through introductions by the Sydney Alumni Chapter of Rikkyo Alumni Association and others. In addition, the students will give a presentation on their research projects during the final week. The aim is "to be able to use English."

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション・自己紹介
2. 自分について英語で語る
3. 英語表現を考えるグループワーク(1)
4. 経済学を英語で学ぶ<反転授業>(1)
5. シドニーについて知る/ゲストスピーカー(1)
6. シドニー大学での研修に関するガイダンス(1)
7. 英語表現を考えるグループワーク(2)
8. 経済学を英語で学ぶ<反転授業>(2)
9. シドニー大学での研修のための事前テスト
10. 経済学を英語で学ぶ<反転授業>(3)
11. 英語表現を考えるグループワーク(3)
12. シドニー大学での全般に関するガイダンス(2)
13. リサーチ・プロジェクト準備学習
14. 出発直前ガイダンス

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

反転授業のために映像資料(英語による経済学入門)で事前に予習する必要がある。リサーチ・プロジェクトについては、事前準備として「リサーチシート」の提出を求める。また、別途、基礎的な英語力を高めるための補助教材(REO等)についても利用を薦める。

成績評価方法・基準(Evaluation)

プレゼンテーションの準備及び最終評価(30%)/秋学期中の事前講義への積極的参加と貢献(30%)/研修先での語学クラスの評価(30%)/企業訪問等への積極的参加と貢献(10%)
(本学及びシドニーにおける)全ての授業に出席すること。4回以上の遅刻や欠席はD評価となる可能性がある。

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

1. 高橋瞳、2014、『日本入門』、小学館

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、プログラム内容等が大きく変更されることがあります。また、受講登録にあたっては事前の説明会等に参加し、プログラム内容等を確認してください。

注意事項 (Notice)